

## 令和4年度 第1回坂東市行政改革懇談会 会議記録（概要）

1 日 時 令和4年8月3日（水） 午後1時30分～午後3時20分

2 場 所 坂東市役所3階 大会議室

### 3 出席者

(1) 委 員 田村光子会長、林淳一副会長、泉一之委員、上坂理一委員、  
神戸俊裕委員、倉持せつ子委員、霜田礼子委員、瀬島弘道委員、  
田中聡委員、寺田智美委員、古谷直美委員

(2) 山口誠副市長

(3) 事務局 企画部長、企画課長、課員5名

欠 席：白澤航洋委員

### 4 会議要旨

(1) 委嘱状交付（瀬島委員）

(2) 副市長挨拶（要旨）

当市では引き続きワクチンの確保・接種の促進に努めるとともに、独自のおまかせ予約や接種専用の公共交通利用券発行など関連施策を実施し、1回目から3回目までの接種率につきましては県内5万人以上の都市において1番となっております。

また、経済支援策としまして、令和2年度から商工会の御協力のもと、全国初として実施しておりますWプレミアム商品券事業を今年度も実施するほか、物価高騰対策支援として保育事業者や福祉サービス事業者、医療機関や交通事業者等順次支援を進めるなど、様々な施策を通して、引き続き市民の皆さまが安心して生活できるまちづくりを推進してまいります。

さて、本日の行政改革懇談会につきましては、「社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現を推進するための機関」として、市の条例で定め、設置する重要な機関となっております。本日御議論いただきます「行政改革」の分野については、「みんなで作る」という理念のもと、市民の皆様からお預かりした貴重な税金を、無駄なく、御期待に寄り添うような使い方に転換するための様々な改革を進めているところでございます。将来を見据え、限られた財源のなかで事業の選択と集中を行い、今の坂東市に真に必要な事業を実施するとともに、改善を図りながら経営的視点での市政運営を目指してまいります。

(3) 議事 (※意見交換・質疑記録【概要】)

①坂東市新行政改革プラン 2018-2021 最終結果について

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p><b>1</b> 審議会等における女性委員の登用率の向上について</p>	<p>各審議会や委員会では女性の委員を増やす必要があり、そのためには強い意識をもって取り組まなければいけないのではないかと。</p> <p>私は過去に地域の中で割当制や交代制により委員となった経験があるが、女性の登用率向上にはこのような手法も一つの有効策と考える。現状では当市や国が目指す目標値にほど遠く、段階を踏んで到達を目指す必要がある。</p> <p>女性の委員選任は子育てなどによる辞退など様々な障害があると考えられるが、女性の委員を増やし意見を反映していかなければ、「若い世代が住みたい」と思うまちにはならないのではないかと。</p>	<p>女性登用率の目標値は、国が 30%、本市では男女共同参画プランにおいて、2022 年までに 40%という目標を掲げてきたところですが、達成に至っておりません。平成 30 年度当時では 27%程度でしたが、現在はその水準を少し下回っております。</p> <p>女性の登用率向上には地域での割当制や交代制が有効ではないかとの意見がございましたが、市といたしましても女性の登用率向上に向け、様々な手法を検討するとともに、新しい人材を発掘し、様々な意見を反映できるような体制づくりを検討いたします。</p>
	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>女性フォーラムでは先進的な取組・活動をしている女性のポスターを作成しており、過去 2 年間で合計 30 名の活動を掲載した。目立たずとも良い活動をしている女性は多く存在する。このようなやる気のある女性の参画は市を活性化するのではないかと。</p>	<p>女性フォーラムのポスターにより、委員の依頼に繋がったケースもございました。</p> <p>多くの市民の皆様が市政に参加いただくことで活性化に繋がるほか、事業の幅も広がることから、女性フォーラムの事業を参考とし、人材の発掘に努めてまいります。</p>
<p><b>13</b> 効果的な情報発信体制の構築</p>	<p>坂東市の LINE アカウント開設以来、家族で登録し、活用している。市からの情報が定期的に発信され便利になったが、今後は機能をさらに充実して欲しい。</p> <p>若い世代でも LINE であれば情報を得やすい。LINE から発信される情報の充実により、既存の防災ラジオと併用して様々な情報を得ることができるようになるので、力を入れて取り組んでいきたい。</p>	<p>情報伝達手段の一つとして昨年 LINE アカウントを開設し、現在の登録者数は 3300 人程度となっております。</p> <p>メディアの性質上、一方的な発信となりますので、発信に際して時間帯や内容等を考慮し、運用しております。</p> <p>LINE による情報伝達は有事の際における必要な伝達手段の一つとなります。様々な皆様にご利用いただけるよう PR に努めてまいりますので、委員の皆様からも PR いただければ幸いです。</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>私も市の LINE アカウントを登録しており、特に新型コロナウイルスの感染者状況については団体活動時の判断材料として活用している。</p>	<p>（意見として拝聴した。）</p>
<p><b>19</b></p> <p>関係人口を増やすシティプロモーション</p>	<p>コロナ禍以降はリモートワーク等が普及し、会社へ入社する機会が減ったことから、若い方々でも地方へ移住するかたが増えている。メディアでも地域の魅力を PR し、移住者に補助金等を提供するものが多くみられるが、坂東市でも同様の制度があるのか調べてみると、「子育て世代定住促進奨励金」を今年度創設したことを知った。このような制度を PR することで、人口減少にも効果があると考えられる。</p> <p>また、古民家の空き家などについても問題視されており、このことについても力を入れて少子化に歯止めをかけるような検討が必要ではないだろうか。</p>	<p>「子育て世代定住促進奨励金」は本市へ移住する子育て世代に対して支援を行う趣旨の支援金となります。コロナ禍を転機として、通勤の利便性以外にも地域の魅力ある快適な環境等が居住の着眼点となってきています。本市も移住定住の促進に向け、今後更なる PR を図ってまいります。</p> <p>空き家に関しましては、まずは危険の排除が優先と考えられますが、これをクリアし、住居の使用に耐えうるものはバンク化の余地があると考えられます。</p> <p>人口減少社会において、いかにして住民を確保するかが自治体の生命線となることから、住みやすい環境の構築や PR について検討を進めてまいります。</p>
<p><b>66</b></p> <p>マイナンバーカードの利活用について</p>	<p>坂東市のカード交付率について、具体的な数値は何%程度となっているか。</p>	<p>令和4年4月1日現在の数値で33.8%となっております。</p>
	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>このマイナンバー制度は開始して相当年数経過するが、マイナンバーカードの交付率は低調に推移していると考えられる。現在まで様々な施策を通して普及率の向上を目指していると考えられるが、依然として低調なのは制度そのものに疑問を持つ市民も多く存在するのではないだろうか。</p> <p>本制度は非常に重要な施策であると考えられるが、市はマイナンバーカードの普及・推進をどう捉えているのか。</p>	<p>マイナンバー制度及びマイナンバーカードの普及は市といたしましても重要な制度・施策として捉えています。</p> <p>マイナンバーカードの活用により印鑑証明書や住民票、一部の税証明書などがコンビニエンスストアで取得できるほか、最近では新型コロナワクチンの接種証明書も発行することができるようになるなど、マイナンバーカードの普及は日常生活における利便性の向上に寄与するものです。</p> <p>市といたしましても、引き続き普及の促進に取り組んでまいります。</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p><b>その他意見</b> 放課後児童クラブについて</p>	<p>去年、放課後児童クラブに関連して低学年と高学年の時間差下校に関する問題提起をしたが、低学年と高学年が一緒に下校できるようご配慮いただき、手法としても負担が1か所に集まらないようにしていただいた。これは、家庭と学校と放課後児童クラブの3つで負担を分担する非常に良い解決方法であった。お礼を申し上げたい。</p>	<p>（意見として拝聴した。）</p>
<p><b>その他意見</b> オンライン授業の実施について</p>	<p>コロナ禍により授業の継続が困難な時期において、市では安全対策を講じたうえでオンライン環境を整え、オンライン授業を開始していただいた。</p> <p>子どもたちも非常に楽しそうに学習をしており、家庭でもどのように勉強に取り組んでいるのかを確認でき、安心な環境づくりに繋がったのではないか。</p>	<p>（意見として拝聴した。）</p>
<p><b>その他意見</b> 市内の自動車解体業（ヤード）について</p>	<p>長須地区と七重地区では自動車解体業（ヤード）が増えており、市内に多く存在する。中には危険を感じるものも多く、また車も高く積まれ、敷地内の様子が分かりにくい。</p> <p>この設置許可については、どのような経過を経て許可をしているのか。また、市は現状を把握できているのか。</p>	<p>自動車解体業の許可は茨城県、土地の使用許可は市の許可となります。全国的に自動車解体業はオークション会場付近で増加傾向となっております。特に、市街化調整区域に関しまして、他県では規制を行っておりますが、茨城県では設置可能な状況となっております。</p> <p>本市では茨城県知事及び茨城県警察に市長及び議会で要望・陳情活動に動いたことにより、特例措置として去年12月より市街化調整区域における自動車解体業の新設許可は原則として認めないものとなりました。市街化区域では引き続き基準及び技術的要素がクリアできれば許可されることとなります。</p> <p>ご指摘の地域に存在するものはこれまで合法的に設置されたものでございますが、今後における市街化調整区域での新設は原則認められませんので、違法性が確認されるものについては県警等と連携し、対応させていただきます。</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
	<p>（上記の回答に対して）</p> <p>今後、市街化調整区域での解体業は認可されないが、保管場所としての利用は認可されると聞く。車両を置くことができるのであれば、敷地内を確認することは困難である。</p> <p>違法事案の解決には、より厳しい条例のもとで他市町村との差別化を図り、真剣に取り組まなければならないのではないか。</p>	<p>保管場所としての一部懸念はございますが、先にも述べましたとおり、今後新設となる市街化調整区域の保管場所では原則解体を行うことができません。</p> <p>今後、明らかな違法事案などございましたら情報提供をいただくとともに、市といたしましても警察や行政区長と連携し、パトロール等を行いながら「無秩序な乱開発」を防ぐための対応を進めてまいります。</p>
<p><b>その他意見</b> 秀緑の利活用について</p>	<p>観光交流センター「秀緑」についてはより一層の利用推進を図るべきである。協力して坂東市を盛り上げている市民から「市と円滑なコミュニケーションを図り、秀緑を市のシンボルとして活用したい」という意見を伺っている。</p> <p>コロナ禍で使用頻度は減ると思うが、イベントはみんなが楽しみ、気持ちを一つにしたりする心の活力だと考える。</p> <p>是非秀緑を活用していただきたい。</p>	<p>コロナ禍でのイベント開催は行政としましても判断が難しいところがございます。多くのかたに来ていただきたい一方で、現環境下でどのように皆様にお使いいただくかを十分考慮しなければならないため、効果的な開催方法や施設の利活用を市全体で検討していきたいと考えます。</p> <p>市内で活動いただいている皆様の「シンボルとしての活用」というご意見については、担当課へもお繋ぎさせていただきます。</p>

②坂東市新行政改革プラン 2022-2025（骨子案）について

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p><b>3 ページ</b> （1）人口減少・少子高齢化の進行</p>	<p>全国的に人口減少・少子高齢化が進む一方、世帯数は増加に転じている。近所でも空いた所有地や敷地内に家を建てるケースも増えており、同居はあまり見られない。身近においても核家族化が限りなく進行したと考えられる。</p> <p>核家族中心の家族構成に対して、どんなサービスができるか、そして人口を増やす手立ての手法として、何かできないかということに着目し、市の政策を考慮していただきたい。</p>	<p>坂東市における1世帯あたりの人数は県内で上から5番目であり、核家族化が他市と比較して緩やかに進行している状況ですが、今後において当市も例外なく進行が加速化するものと考えられます。</p> <p>核家族が進んだ現代社会のなかで、市といたしましても坂東市を選んでいただける、或いは引き続き留まっていただけるよう、若い世代・核家族世帯に対して暮らしやすいまちづくりやサービスを検討してまいります。</p>

事項	意見・質問（要旨）	回答（要旨）
<p><b>3 ページ</b></p> <p><b>（１）人口減少・少子高齢化の進行</b></p>	<p>坂東市には 13 の小学校が存在するが、小規模校が多く存在することから、学校再編が必要と考えられる。</p> <p>他の自治体ではこれに加え、小中一貫校への再編を行う自治体も増えている。難しい問題であるとは認識しているが、坂東市でも学校再編を行い、新たな教育のスタイルを作っていただきたい。</p> <p>近隣の県立高校も中高一貫で動いており、国・県も学校再編に向けた動きにあることから、当市も学校再編に向けた検討が必要であるとする。</p>	<p>（意見として拝聴した。）</p>